

令和2年度 第1期

## 清川泰次 絵と言葉

Taiji Kiyokawa: Pictures and Words

会期:2020年6月2日(火)～10月4日(日)

※新型コロナウイルス感染症の影響のため、会期変更

[変更前の会期:2020年4月1日(水)～10月4日(日)]

※2020年10月5日(月)から2021年1月4日(月)までは空調設備の工事のため休館

会場:清川泰次記念ギャラリー

入場者数:517人

主催:世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)

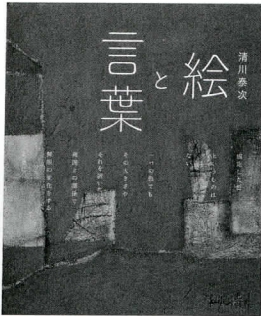
担当者:樋口茉呂奈

長らく成城の地にアトリエ兼住居を構えた世田谷ゆかりの画家・清川泰次(1919-2000)。1940年代より本格的に画家としての活動をはじめ、以降約60年にわたり、物の形態を写すことに捉われない独自の抽象芸術を探索し続けた。

清川は、色面や線のみで構成された作品を数多く描いているが、その芸術観には、清川がのこした言葉からも触れることができる。清川は1959年に『絵と言葉』、1967年に『絵と心』(いずれも美術出版社)を出版し、自身の芸術や作品について記した言葉の数々を詩のようなかたちで掲載した。本展では、この2冊から抜粋した言葉とともに絵画作品を展示し、絵と言葉という二つの表現を通じて清川泰次の芸術を紹介する機会とした。

また、会期中に清川泰次記念ギャラリーの概要と、清川の芸術や展覧会のみどころについての解説を2本仕立ての動画(分館ホームページ・公式Youtube)にて公開した。

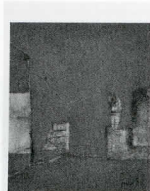
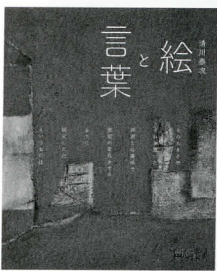
2020  
4.11→10.4  
世田谷美術館  
清川泰次記念ギャラリー



A4チラシ

B3ポスター

DMはがき



4.11→10.4 世田谷美術館 清川泰次記念ギャラリー

### 出品目録

#### <大展示室>

No.	作品名	制作年	材質、技法
1	赤い海	1950代	カンヴァス、油彩
2	海の見える街-56	1956	カンヴァス、油彩
3	池の緋鯉-59	1959	カンヴァス、油彩
4	Fall(秋)	1959	カンヴァス、油彩
5	赤でおおわれた	1959	カンヴァス、油彩
6	ブルーの絵	1960	カンヴァス、油彩
7	オレンジ色の6F-62	1962	カンヴァス、油彩
8	白の中の黒タテ線	1962	カンヴァス、油彩
9	ブルーと紫	1962	カンヴァス、油彩
10	黄色の中に黒い四角-63	1962-63	カンヴァス、油彩
11	Painting No.SF364	1964	カンヴァス、油彩
12	コーラルレッドの3号-67	1962-67	カンヴァス、油彩
13	Gray&Black&White	1967	カンヴァス、油彩
14	右下に赤三角	1968	カンヴァス、油彩
15	左下に黒三角	1968	カンヴァス、油彩
16	Painting No.1083	1983	カンヴァス、アクリル
17	Painting No.4190	1990	カンヴァス、油彩
18	Painting No.693	1993	カンヴァス、油彩、アクリル
19	Painting No.2293	1993	カンヴァス、油彩、アクリル
20	Painting No.2593	1993	カンヴァス、油彩、アクリル
21	Painting No.2793	1993	カンヴァス、アクリル

#### <小展示室>

No.	作品名	制作年	技法、材質
22	Stainless Object U-3 No.3991	1991	ステンレス

展示風景(撮影:上野則宏)



### 関連企画

5月23日(土)、9月26日(土) 各日11:00-  
※新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止

担当学芸員によるギャラリートーク  
講師:樋口茉呂奈(当館学芸員)

7月21日(火) 公開 [p.64]

〔動画〕世田美チャンネル vol.11  
清川泰次記念ギャラリー  
「清川泰次 絵と言葉」その1  
出演:樋口茉呂奈(当館学芸員)  
撮影:西 美江  
編集:樋口茉呂奈(当館学芸員)

7月28日(火) 公開 [p.64]

〔動画〕世田美チャンネル vol.12  
清川泰次記念ギャラリー  
「清川泰次 絵と言葉」その2  
出演:樋口茉呂奈(当館学芸員)  
撮影:西 美江  
編集:樋口茉呂奈(当館学芸員)

# 清川泰次とアメリカ

Taiji Kiyokawa and America

会期:2021年1月5日(火)ー3月14日(日)

会場:清川泰次記念ギャラリー

入場者数:448人

主催:世田谷美術館(公益財団法人せたがや文化財団)

担当者:樋口茉呂奈、伊藤まりん

清川泰次は慶應義塾大学を卒業後、1940年代より画家としての活動をはじめ、亡くなる2000年まで精力的に制作を続けた。その約60年にわたる画業において、特に重要な転機となった出来事が、1950年代と60年代に経験した2度の渡米である。

清川が初めてアメリカに渡ったのは、戦後間もない1951年のことである。アルバイトをしながらシカゴに滞在し、1954年までの約3年間、制作や画廊での発表を行った。初期には具象的な画風から出発した清川であったが、この渡米中、本格的に抽象表現へ移行する決意を固め、帰国後は線や色面のみで画面を構成するようになる。その後、清川はもう一度アメリカで本格的に仕事をしたいと、1963年から66年まで再び渡米した。在米中、主に白や黒、グレーを用いて作品を描くようになり、このスタイルは1970年代から80年代に清川が開拓した、白を基調とする表現へ発展することとなる。

本展では、清川がアメリカで制作した作品を中心に展覧し、外国で新たな芸術を模索していた頃の画風の変化を紹介する機会とした。また、清川がシカゴなどの風景を撮影した写真も併せて展示した。

## 出品目録

### <大展示室>

No.	作品名	制作年	材質、技法
1	作品名不詳	1951	カンヴァス、油彩
2	クリスマスイヴ望郷	1951-52	カンヴァス、油彩
3	シカゴにて	1951-52	カンヴァス、油彩
4	静物 イン シカゴ	1952	カンヴァス、油彩
5	アブストラクト・イン・シカゴ	1954	カンヴァス、油彩
6	白の中に点 SF4363	1963	カンヴァス、油彩
7	Painting No.SF3164	1964	カンヴァス、油彩
8	Painting No.SF3564	1964	カンヴァス、油彩
9	Painting No.SF1564	1964	カンヴァス、油彩
10	Painting No.SF465 モスグリーン	1965	カンヴァス、油彩
11	Painting No.SF765	1965	カンヴァス、油彩
12	Painting No.NY2466	1966	カンヴァス、油彩
13	Painting No.NY1566	1966	カンヴァス、油彩
14	Painting No.NY1966	1966	カンヴァス、油彩
15	Painting No.68-73	1973	カンヴァス、アクリル
16	Painting No.181-B	1981	カンヴァス、油彩、アクリル

### <小展示室(資料展示)>

#### 写真

\*写真は、オリジナルフィルムをデジタル化し、プリントしたものを展示した。

清川泰次撮影(シカゴにて)、1951-54年

清川泰次撮影(シカゴにて)、1951-54年

清川泰次撮影(ニューヨークにて)、1951-54年

清川泰次撮影(ニューヨークにて)、1963-66年

清川泰次撮影(ニューヨークにて)、1963-66年

清川泰次撮影(ニューヨークにて)、1963-66年

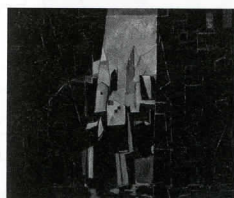
#### 個展、グループ展案内状

サンフランシスコでの個展案内状、サンフランシスコ・アート・センター、1964年

ニューヨークでのグループ展案内状、トゥエンティース・センチュリー・ウェスト画廊、1964年

ニューヨークでの個展案内状、トゥエンティース・センチュリー・ウェスト画廊、1965年

ニューヨークでの個展案内状、トゥエンティース・センチュリー・ウェスト画廊、1966年



清川泰次  
と  
アメリカ  
**Taiji  
Kiyokawa  
and  
America**

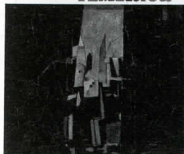
2021.1.5 (Tue.) - 3.14 (Sun.)

世田谷美術館 清川泰次記念ギャラリー

清川泰次 記念ギャラリー

B3ポスター

清川泰次  
と  
アメリカ  
**Taiji  
Kiyokawa  
and  
America**



2021.1.5 (Tue.) - 3.14 (Sun.)

世田谷美術館 清川泰次記念ギャラリー

展示風景(撮影:上野則宏)

